

勤務場所と勤務時間に制限のある

ソフトウェアエンジニアの生存戦略

2020-11-04

自己紹介

- 荻原 涼 (Ogihara Ryo)
- 会社員 / 個人事業主
- Sler -> 無職 -> SES -> フリーランス -> 自社サービス開発
- 地方在住による勤務場所制限
- 眼精疲労による労働時間制限
- <https://github.com/ogihara-ryo>

今日お話しすること

地方在住で在宅勤務しかできず、眼精疲労で1日2時間程度しかディスプレイと向き合えないことに悩み続けてきたソフトウェアエンジニアが、これらの制限を逆に強みに変えるまでのお話をさせていただきます。

目次

- 制限のある労働条件
- 勤務場所の壁を破るまで
- 勤務時間の壁を破るまで
- まとめ

目次

- **制限のある労働条件**
- 勤務場所の壁を破るまで
- 勤務時間の壁を破るまで
- まとめ

制限のある労働条件

- 高卒
- ブラック時代のトラウマ
- 無職時代の虚無
- 地方在住
- 眼精疲労

高卒

通常ルートでの選考には期待できない

-> 自信の市場価値を高めてリファラル採用を狙う

大企業への就職も不可能

-> 憧れはあるが、ベンチャー企業や個人事業主は楽しいのでセーフ

ブラック時代のトラウマ

新卒でブラック企業に入り無事洗脳

長時間労働しない奴は社会の敵

-> ネットワークビジネスのマインド教育で洗脳が溶ける

--> 今は長時間労働はしない、させない

何時間も立たせて説教をするような他部署の上司

社会が厳しいのではなく、社会を厳しくしたい奴が厳しくしているだけ

-> 人を叱る時は建設的に、皆の前で自尊心を損ねるような注意はしない

無職時代の虚無

マインド教育の弊害

自己啓発系メディアを作って広告収入とアフィリエイト収入で不労所得生活を目指すも失敗

-> 貯金を食い潰して経歴に1年の空白期間が生まれただけ

「この空白期間について説明してください」

-> 「起業を目指して頑張っていました」 と言えばセーフ

地方在住

福岡県行橋市に一軒家を建てる

-> フルリモート以外の働き方の選択肢がなくなる

どうせ元々引きこもり

眼精疲労で明るい環境に長時間居られないので、どっちみちオフィスワークは不可能

-> 開き直ってフルリモートエンジニアとしてブランディング

--> 新型コロナウイルスの影響で良くも悪くもフルリモートが身近に

眼精疲労

1日2時間労働

3時間以上続けてディスプレイを直視し続けられない

電動アイマッサーや蒸風呂等で労働時間を引き延ばすことは可能だが、とても8時間労働は不可能

-> 開き直って労働時間の短いエンジニアとしてブランディング

--> 自動テスト、CI、高速プロトタイピング

目次

- 制限のある労働条件
- **勤務場所の壁を破るまで**
- 勤務時間の壁を破るまで
- まとめ

勤務場所の壁を破るまで

- 在宅勤務
- 労働環境は与えられるものではなく自ら掴むもの
- リモートワーカーにはリモートワーカーが集まる

在宅勤務

- 地方で活躍するにはこれしか選択肢がない
- 働き口の選択肢が大幅に狭まるので能力が重要
- リモートチームで仕事が回る環境を自分が率先して作る
- 出社してくれている人へリスペクトの姿勢を見せる

労働環境は与えられるものではなく自ら掴むもの

SES 企業勤め時代に自社の在宅勤務規定改正に向けて行動

-> 無事に在宅勤務環境を手に入れる

--> 与えてくれる企業を探すよりも自ら環境を変える方が安く済むこともある

説明することを怠らない

- 何故自分が在宅でないと仕事ができないか
- 在宅でどのようにしてコミュニケーションを取るか
- 在宅でどのようにして生産性を高めるか
- 在宅でどのようにしてセキュリティの課題をクリアするか

-> 意外と皆わかってくれる

リモートワーカーにはリモートワーカーが集まる

在宅勤務できる会社なんてない

意外とある

リモートチームはリモートワーカーが必要

新型コロナウイルスの関係でリモートワークのノウハウも増えた

リモートワーカーの slack コミュニティ等もある

リモートワーク採用企業の一覧リポジトリもある

-> <https://github.com/remote-jp/remote-in-japan>

目次

- 制限のある労働条件
- 勤務場所の壁を破るまで
- **勤務時間の壁を破るまで**
- まとめ

勤務時間の壁を破るまで

- フレックス・フルフレックス
- 個人事業主
- 時間売りをしない
- パフォーマンスを上げる

フレックス・フルフレックス

採用企業は確かに少ない

-> 雰囲気で実質フレックスになってる企業は割とある(内緒で)

--> リモートチームだと特に多い

強いチームに入れる人材を目指す

フルフレックスを採用して仕事が回っているチームは優秀な人の集まりであることが多い

-> 結果、さらに成長に繋がる

個人事業主

勤務時間からの解放

- 契約による(後述)
- 能力による(後述)

開業は意外と簡単

-> 開業届を書いて税務署に提出するだけ

時間売りをしない

稼働幅を設定しない

140～180時間といった、月に提供しなければならない労働時間を契約書に書かなくても良いような仕事や顧客を選ぶ

-> それが許されるだけの能力が必要(後述)

時給換算の仕事は請けない

手軽に稼げて美味しいが、生産性の向上が収入増加に繋がりにくい

-> 生産性向上のメリットが薄いと生産性が上がりにくい

パフォーマンスを上げる

ワガママを通すためには能力の証明が必要

無駄の排除と自動化を徹底する

-> 意外と皆できてないので優位性になる

--> 8時間労働から解放されて初めて見える無駄は多い

コミュニケーション時の気持ち良さが信頼を生む

テキストコミュニケーションは「この人は話が早いな」と思われれば勝ち

- 長文を打つなら先に1レス送る
- 相手の要望は簡潔な文章に変えて提示する

目次

- 制限のある労働条件
- 勤務場所の壁を破るまで
- 勤務時間の壁を破るまで
- **まとめ**

まとめ

- 労働条件は自分から能動的に手に入れる
- 希望の労働条件を通すために技術とコミュニケーション能力を高める
- 労働条件の制限がブランディングになることもある
- 労働条件の制限があるからこそパフォーマンスが上がることもある